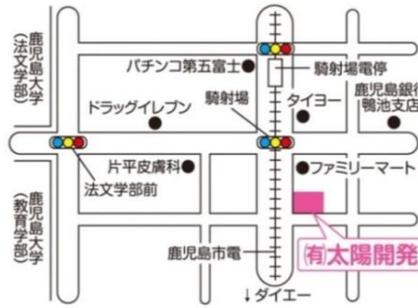


SUNSHINE

第 93号 2016年 12月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市鴨池2丁目1-12 Tel.099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com



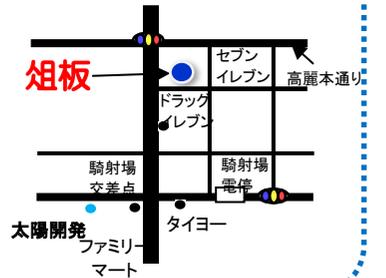
俎板~MANAITA~

鹿児島県鹿児島市荒田2-59-7
 営業時間 17:30~00:00
TEL099-204-7672

メニューリニューアルにつき！第2弾！

今回は、騎射場にありますが、俎板~MANAITA~、のご紹介です！新メニュー追加によりリニューアル♪ご紹介、第2弾となります！！

11月14日から、新メニューとして、「創作お茶漬け」をご提供！創作お茶漬けとは、アツアツの石釜の中に白米と、特製の具材が盛り付けられ、自家製出汁でいただくお茶漬けです。そんな、「創作お茶漬け」の、オーナー様のこだわり！ご紹介致します。
 まず、お米！「幸田永里米」という、日本棚田百選に認定された、魚沼産コシヒカリより、糖度が高く、ミネラルたっぷり、甘みのあるお米を使用。そのお米を、アツアツの石釜で提供することによって、お茶漬けなのに『おこげ』まで味わうことができます。また、俎板さんの「創作茶漬け」は、まず、『自家製出汁を飲んでから』、出汁の風味まで味わうことができます。しかも「替え玉」ならぬ、「替え米」もあり、創作お茶漬けを2倍楽しむことができます！他にも、トッピングとして、紀州梅、煮卵、チンジャ、わさび昆布etc...全て¥100！！
 そんな「創作お茶漬け」人気メニューNO1が「帆立と小海老の焦がしバター茶漬け」なのだそう。焦がしバターで、帆立と小海老をソテーし、ぷりぷりの食感を味わえる一品！ちなみに、私は「漬け鮪のお茶漬け」を頂きました。飲んだ後にあっさりと感じたい方にオススメです♪鹿児島初の「創作お茶漬け」ぜひご賞味下さい(*^_^*)



平成28年6月新築マンション

Credoik Casa・W -クレドイック カーサ・W-

今回ご紹介させて頂くマンションは、今年の6月に完成した船津町にある新築【クレドイック カーサ・W】です！
 いづろ通電停まで徒歩6分、マルヤガーデンズへも徒歩4分の場所にあり、ショッピングやお酒を飲みに出かけるのが大好き！という方にとって、最高の立地ですね☆冬も近づき、ドルフィンポートや港大通り公園などのイルミネーションもいつでも鑑賞できちゃいます
 建物はデザイナーズマンションとなっており、コンクリート打ちっぱなしのスタイリッシュな外観で、内装の壁や建具などには無垢の木材を使用しており、お部屋にしながら木材の自然な香りに癒されます!(^^)!

設備として、オートロック、エレベーター、各部屋には洗面化粧台、温水洗浄便座も完備。さらには、大好きなペットと暮らせるペット飼育可のマンションです(^^♪

ちなみに犬・猫の名前ランキングベスト3を調べてみました！
 犬 第1位「ココ」 第2位「チョコ」 第3位「モコ」
 猫 第1位「ココ」 第2位「レオ」 第3位「ソラ」
 犬・猫どちらも「ココ」が人気のようです(^^)/



2016年も残すところわずかとなりました。皆様には色々お世話になりました。ここに御礼申し上げます。
 今年最後のサンシャインは、6月ベトナムのホーチミン(旧サイゴン)を訪れたのでご紹介いたします。ホーチミンを訪れた理由は、三人の作家の本が引き金になっています。開高健の「輝ける闇」「ベトナム戦記」ともベトナム戦争で従軍記者を体験した著者が戦争の絶望とみにくさをえぐりだした書、近藤純一「サイゴンのいちばん長い日」「サイゴンから来た妻と娘」サンケイ新聞の特派員として、サイゴン陥落前の大混乱をベトナム人の妻を持ち民衆と生活を共にした近藤が自らの目と耳と肌で克明に記録したポタージュ。最後は沢木耕太郎の「一号线を北上せよ」解放前のサイゴンを想い、開高健、近藤純一、ヴェトナム戦争等を振り返りながら、ホーチミンよりハノイまで沢木自身が北上していく旅を著した書。

これらの本を読んで強く思ったのが、ベトナム戦争に関する思想とかは全く関係なく、ホーチミン市の中心地を流れるサイゴン川に面して建ち、フランス植民地時代より営業しているコロニアル調のマジェスティックホテルへの憧れです。開高健、近藤純一が宿泊したマジェスティックホテルへ沢木耕太郎もノスタルジックと憧れをいだいて宿泊したように、私も時代は違うが同じ空間を共有してみたいというのが第一の目的でした。

飛行機は成田よりタンソンニャット空港へ深夜到着。そこからタクシーで念願のマジェスティックホテルへ。フランス植民地時代より営業しているホテルだけあってロビーに入ると、ステンドグラス、アンティークのシャンデリア、クラシックな雰囲気漂い、事前に連絡していたので、深夜にも関わらず黒いアオサイを来たスタッフがスムーズに対応してくれました。

部屋は良質の木材をふんだんに使用した贅沢な造りで、伝統が醸し出す雰囲気があり、窓を開けると眼下にサイゴン川が流れています。翌日の朝食は、沢木耕太郎もお気に入りのヴェトナム肉うどんのフォーと卵やパンの洋風朝食をホテルでとりました。鶏肉のフォーはさっぱりとしたスープで朝食にはぴったりです。朝食後、スタッフの女性に開高健を知っていますかと尋ねると、当然知っていますという返事で、今でも開高健の宿泊していた103号室が特別な部屋として存在しているとのことでしたので、スタッフにお願いして特別に中を見せてもらいました。103号室は(予約すれば宿泊が可能)ドアの横の壁に開高健を解説したプレートが貼ってあり、室内は広く大きな机とイスが威厳をもって部屋を守っているようでした。

夜は、サイゴン川と夜景を眼下に望むホテル屋上のテラスバーで沢木耕太郎も飲んだカクテル「ミス サイゴン」をオーダーしました。カクテルの経験が少ない私ですが、確実にサイゴン川とマジェスティックホテルと沢木耕太郎の香りがしました。「ミス サイゴン」の香りと沢木耕太郎の世界に浸っていたのですが、気がつくとテラスバーの一隅で日本人の学生らしき男女数人が「ミス サイゴン」をオーダーし、楽しそうにはしゃいでいました。突然現実の世界へ引き戻されて、テラスバーを後にしました。

今後はどの国の町へ行ってもスタバとマクドナルドが存在し、近代的ビルが街の景観を変え都市化の波が進み、その国の特徴がどんどん無くなっていくのではないのでしょうか。若い人にはどんどん世界へ出て、今のうちに変わる前の歴史とその国の人々の暮らしを肌で感じてもらいたいと思います。

今回は3泊4日の旅でした。ホーチミンで特に印象に残ったのがタクシーの料金が明朗で運転手のマナーも良く、いやな思いはひとつも無かったことです。ひとつだけたいへんな思いをしたのが、なかなか道路を横断できないことです。ホーチミン市内は異常にバイクが多く、信号がほとんど無い為、道路を横断するには走ってくるバイクをよけるのではなく、ゆっくり規則正しいテンポで歩き、バイクの集団によけてもらうしかありません。私も横断を躊躇していたら現地の人が親切に私の横に付いて一緒に横断してくれ、たいへん助かりました。これでよく事故が発生しないものだと感じたいです。 ちなみに、12月17日はミュージカル「ミス サイゴン」を市民文化ホールで観劇する予定です。【川越】



今月の一冊 No.92 土佐堀川 広岡浅子の生涯

古川智映子
 県立弘前中央高校、東京女子大学文学部卒業。国立国語研究所で「国語年鑑」の編集に従事、その後は高校教諭を経て、執筆活動に入る。著書に『赤き心に』『風花の城』『一輪咲いても花は花』『白雪の碑』『飛鳥Ⅱより愛を込めて』『性転換』『炎の河』など。日本芸術家協会会

昨年今時分放映されていたNHKの朝の連続ドラマ『あさが来た』の原案本『土佐堀川』を紹介いたします。私はあまり連続ドラマは見ないんです。特に朝の連続ドラマや大河ドラマとなると、長丁場なので、まず見ないですね。しかし大河については例外があります。幕末物は見ます！なので、最近では『新選組』『篤姫』『龍馬伝』はかかさず見てました。なかでもどっぷりはまったのが『新選組』で、山本耕史の土方歳三はまさにハマり役でしたよね。その山本耕史が土方役で『あさが来た』に出演していたと聞いて、大みそかに放映された『あさが来た』の前半総集編を見てみたんですね。そしたら面白い！はまりました！あ〜、ちゃんと最初から見ていれば良かった…。それで後半は、それはもうしっかり鑑賞しましたよ。五代友厚役のティーン・フジオカも、新次郎役の玉木宏もとても素敵でしたが、あさが役の波瑠、はつ役の宮崎あおいが本当に素敵でした。放送終了後、早速『土佐堀川』を読んだのですが、タイミングが合わずに紹介しそびれていたのですが、この度『あさが来た』が「東京ドラマアウォード」の2016年連ドラ部門のグランプリを受賞、加えて主役の波瑠が主演女優賞、ティーン・フジオカが助演男優賞を受賞したと聞いて、嬉しくなって取り上げました。『土佐堀川』の中の広岡浅子はちょっと波瑠ちゃんとはイメージが違いましたが、とてもパワフルで、それでいてはんなりした感じもあって、素敵に紹介した名作。

